

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます



みなとみらい本町小学校のみなさん



ウランバートル第23学校のみなさん

I. SDGs 次世代交流プロジェクト 2023 (第2回交流会)

11月20日、みなとみらい本町小学校とモンゴル・ウランバートル第23学校のオンライン交流会が開催されました。10月10日に開かれた第1回目の交流会に続き、シティネット横浜プロジェクトオフィス (CYO) の協力を得て実現しました。冒頭では、みなとみらい本町小学校の生徒たちがSDGsをテーマとした校歌「[いろとりどりの未来](#)」を歌う動画がモンゴル語字幕付きで流されました。これはアジア・スマートシティ会議の[シティネットSDGs分科会セミナー](#)の中で海外からの参加者を前に発表したものです。生徒たちは、「モンゴ

ルとのオンラインでの交流会を通して、現在のモンゴルと日本の様子について知ることができました。これからも交流を深め、世界の出来事を自分事として考えていきたいと思えます。」「自分たちは世界中を笑顔にしたいと思いこの校歌を作りました。世界中がもっと良い場所になり、皆がもっと幸せになって地球環境が改善されるようお願いを込めました」と語りました。ウランバートル第23学校の生徒たちからは、「未来を一緒に作っていこうという前向きな歌詞に勇気づけられました」「君は一人じゃない。手を取り合って前に進もうという歌詞に共感しました」などの感想が寄せられました。次に、ウランバートル第23学校から横浜市SDGs未来都市・環境絵日記展に出展した作品紹介のビデオメッセージを鑑賞しました。みなとみらい本町小学校の生徒たちからは、「地球や自然がきれいに描かれていました。SDGsへの思いも伝わってきてとても素晴らしいと思います」という感想がありました。また、ウランバートル第23学校の生徒から自分たちで取り組んでいるごみの分別について日本語で発表がありました。最後にみなとみらい本町小学校から、近海の生物や汚染状況に関する現地調査の他、古本の処分の仕方、プラスチックの再利用、日本でのリサイクル方法、ビニール袋削減の取組などについてグループごとに発表がありました。



ウランバートル第23学校の生徒による環境絵日記のビデオメッセージ



意見交換をするみなとみらい本町小学校とウランバートル第23学校の生徒



生徒による日本語通訳で発表をするウランバートル第23学校の生徒

II. SDGs 未来都市・環境絵日記展

横浜市は横浜市資源リサイクル事業協同組合と連携し、環境絵日記を通じたSDGs未来都市の普及啓発に取り組んでいます。絵日記は、生徒が環境問題について家庭で話し合ったことや自分の考えを絵と文章を組み合わせることで自由に表現するものです。11月18日から25日までは横浜市役所、12月22日から2024年1月24日まではJICA横浜で展示されました。今回は、市内の小学生と海外の友好・姉妹都市の小学生から3902点の応募があり、そのうち256点が入賞作品に選ばれました。

CYOを通じてウランバートル第23学校からも9点の作品が出展されました。普段は都市部に住む生徒たちが、草原や川、湖など家族と訪れたモンゴルの美しい自然の風景を描きました。気候変動をテーマにし、温暖化現象の原因を描いた生徒もいました。生徒たちはごみの分別やポイ捨ての禁止、動物保護や植樹活動など、美しい自然を守るために自分たちで出来る具体的な方法について考えました。また、ビデオメッセージを通して絵日記に込めた思いや考えを伝えると同時に、一緒に楽しみながら美しい自然環境を作っていこうという希望を分かち合いました。作品を出展した生徒にはCYOから修了証を授与されました。生徒たちの作品は[こちら](#)からご覧いただけます。



SDGs未来都市・環境絵日記展



エコトラベルの様子を描いた作品



気候変動の様子を描いた作品

III. SDGs次世代交流プロジェクト2023（第3回交流会）

12月4日、みなとみらい本町小学校とウランバートル第23学校の間で第3回交流会が開かれました。生徒たちは学校でのSDGsに関するこれまでの取組や将来的な取組について情報を交換しました。発言の取組はSDGsの17の目標ごとに、「SDGsの木」に飾られていきました。食べ物を無駄にしない（目標2：飢餓をゼロに）、手を洗う時に水を出し過ぎない（目標6：安全な水とトイレを世界中に）、移動に電力を使わない（目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに）、情報を普及させ偏りをなくす（目標10：人や国の不平等をなくそう）、環境に優しい製品を選ぶ（目標13：気候変動に具体的な対策を）、プラスチック製品ではなく紙製品を使う（目標14：海の豊かさを守ろう）、など各目標に当てはめ「SDGsの木」に盛り込んでいきました。こうした問題を自分たちの身近な課題として捉え、いろいろどりの木を完成させました。

これまで交流会を担ってきたみなとみらい本町小学校の6年生は3月に卒業を迎えます。そのため交流会のバトンが下の学年の4年生と5年生に引き継がれました。締めくくりに6年生から、「交流会が始まる前は気持ちをうまく伝えられるか不安でした。でも交流を深めるにつれ友達同士になり、世界とつながることができてとても嬉しかったです」という感謝の言葉が述べられました。ウランバートル第23学校からは、「3回の交流会を通してSDGsについて考えを深めることができました。みなとみらい本町小学校のみなさんの校歌はとても素晴らしかったです」という言葉が送られました。みなとみらい本町小学校のSDGsの活動を歌で広めたいという目標も達成されました。みなとみらい本町小学校のみなさん、ウランバートル第23学校のみなさん、今年の3回にわたる交流会への積極的な参加をありがとうございました。

どんな取り組みが何番のゴールに
貢献するか考えてみよう！
Ямар үйл ажиллагаа нь ямар зорилтын
хүрээнд хувь нэмэр болох вэ гэдгийг
бодож үзэцгээе！



完成した「SDGsの木」

IV. 持続可能な開発に関する教育（ESD）と環境教育（EE）についてのワークショップ

横浜市はこれまで、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）やベトナム・ダナン市と様々な分野において協働してきました。11月8日、CYOの協力のもと、IGESとダナン大学が主催するESD及びEEに関するワークショップが国際協力センターで行われました。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。CYOは、シティネットのESDの取組としてSDGs次世代交流プロジェクトと横浜市が大きな成果を収めたごみ削減の取組と分別促進の普及啓発活動について紹介しました。またこの横浜市の廃棄物管理の知見・経験を、ダナン市を始めとする新興国都市に都市間協力を通じてどのように共有されているかについても発表しました。



CYOによるプレゼンテーションの様子

CYOは今後もこのようなワークショップやセミナーを通して、シティネットの活動や横浜市の優良事例を紹介し、都市問題解決に向けた方策の議論を推進していきます。

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
横浜国際協力センター6階、パシフィコ横浜
TEL: +81-45-221-1214
E-mail: citynetyokohama@gmail.com



CITYNET Yokohama Project Office
supports the SDGs.